

休眠預金等活用国際シンポジウム ～社会課題の解決に向けて～

2019年5月13日(月)

15:00～18:00 (14:30開場)

先進国であっても発展途上の経済社会であっても、SDGs (持続可能な開発目標)も含む社会的課題に対して、民間の様々なリソース(資金や人材等)を活用して課題を解決していくことは、ますます重要となっています。

こうした中、日本では、2019年度から、社会的課題の解決に取り組む民間の団体に対して、休眠預金を活用して助成等を行う取組が本格的にスタートします。同様の仕組みについて海外では既に導入されている国や地域があります。

日本における制度の本格運用開始を機に、社会的課題の解決に休眠預金等を活用する国や地域から関係者を招き、導入国・地域の経験や成功事例、今後の課題などを議論し共有することで、制度の理解をより深めるため、国際シンポジウムを以下のとおり開催します。



宮腰 光寛

内閣府特命担当大臣



Ms. MIMS DAVIES

英国デジタル・文化・メディア・スポーツ省
スポーツ・市民社会担当大臣

(ビデオスピーチ)

会場

紀尾井カンファレンス

東京都千代田区紀尾井町1番4号
東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー4階
ACCESS▶永田町駅直結・赤坂見附駅より徒歩1分

言語

日本語・英語同時通訳

主催

内閣府

参加費

無料



Program

15:00 開会

15:00~15:10 基調講演 宮腰 光寛 内閣府特命担当大臣

15:10~15:15 ビデオスピーチ Ms. MIMS DAVIES 英国デジタル・文化・メディア・スポーツ省
スポーツ・市民社会担当大臣

パネルディスカッション(第1部15:20~16:20、第2部16:40~17:40) ※下記の方々にご登壇いただきます。

第1部 「休眠預金等活用制度の現状(政策当局からの視点)」

パネリスト



Ms. ALENA LEVITZ

Executive Director,
British Columbia
Unclaimed Property Society

カナダ



Mr. KENNETH JORDAN

Principal Officer for Finance and
Dormant Accounts,
Department of Rural and
Community Development

アイルランド



Ms. CLAIRE ETCHES

Head of the Dormant Assets Team,
Department for Digital, Culture,
Media & Sport

イギリス



Mr. ALBERTO PADOVA

Chief,
Strategic Engagement and Policy Integration Branch,
Financing for Sustainable Development Office, DESA

国連

松下 美帆

(兼 第1部・第2部モデレーター)

内閣府
休眠預金等活用担当室 参事官

日本

休憩(16:20~16:40)

第2部 「休眠預金等を活用した社会的課題解決の成果、課題(現場からの視点)」

パネリスト



Mr. KEVIN McCORT

CEO, Vancouver Foundation

カナダ



Mr. TERENCE O'ROURKE

Chairman,
Social Innovation Fund Ireland

アイルランド



Mr. DANIEL BREWER

CEO, Resonance Ltd.

イギリス



二宮 雅也

一般財団法人日本民間公益活動連携機構
(JANPIA)
理事長

日本

17:45~18:00 クロージング・セッション「今後の政策展開に向けて」

18:00 閉会